

お米作りで思っていること

雲城小学校 六年 長澤 宏斗

僕のおじいちゃんの家ではお米を育てています。米作りの田植えの前にはあらおこし、しろかきをして、田植え、稲かりをします。今と昔では、米作りの工程は同じだけど、やり方がちがいます。例えば昔は手作業でやっていたことを今は、機械でやっていきます。でも、機械化が進んでも、おじいちゃんたちは高れいなので、やめていってしまう人達も多いです。金城の中でもたくさんの方がやめてしまふというところは全国で比べるとものすごく多くの方がやめていっている事です。やめてしまう原因の一つは、異常気象だとも思います。最近冬に雪が降らなくて、春に雪解け水が地面にしみこまふ、田植えの時に田んぼに水がたまりません。そして、梅雨の時期にも雨が降らなかりたりするので、田んぼが干からびて稲が育ちません。だからつつみにためた水をモーターで吸い上げています。

二つ目は、後継者不足だと思います。

僕のおじいちゃんとおばあちゃんも高れいなので、農作業がしんどいといいます。なのでお父さんやお母さんやお母さんの姉妹が手伝っています。でも手伝う人がいない家では農業をやめてしまいます。そうすると草が生えてきて何年かすると木も生えてきたりして森のようになると元に戻せなくなるという問題になります。

おじいちゃんのお住んでいるところの周りでもそういう場所がたくさんあります。

三つ目は、草かりだと思います。

おばあちゃんが

「や」と終わ、たと思ったら最初にか、たところかももう生えてきてる。あ、と草かりしてるような。

と言うからです。

草かりはかるだけではなくて、た草を集めて処分しないと次の草かりをするのが大変だからです。僕も集めるのを手伝うけど暑い

し本当に大変です。
種を撒いたらセンチぐらいまでしか伸び
ない雑草を発明してくれたいのになと思
います。

最近お米が高くなっているけど僕の家はお
じいちゃんがお米を作っているのでも助
かっています。僕の家族はお米が好きなの
でやめちゃうと困るのでおじいちゃんやお
父さんたちのことを手伝ってあげたいです。